

施設整備に係る市と県の協働に関する市の意向調査票

1. スポーツ・健康を核とした街づくり、賑わいづくり

本市では、さいたま市スポーツ振興まちづくり計画を策定し、すべての市民等が障害の有無及びその程度にかかわらず、いつでも、どこでも、いつまでも、スポーツにかかわることができる機会を増やし、並びに市の教育、文化、環境、経済、福祉、都市計画等の広範な分野において、市民等、スポーツ関連団体、事業者及び行政が連携を強化することにより、生涯スポーツの振興及びスポーツを活用した総合的なまちづくりを推進しています。

屋内50m水泳場及びスポーツ科学拠点施設については、本市が進める生涯スポーツの振興及びスポーツを活用した総合的なまちづくり、賑わいづくりに寄与することも考えられます。

2. 多様なスポーツ・健康増進に寄与するための各種運動施設との連携

本市では、平成23年度に全国の自治体に先駆けて「スポーツコミッション」を設置し、大規模なスポーツの大会や合宿等の誘致・支援を行い、市内経済の活性化に取り組んで来ました。

平成30年度には、「一般社団法人さいたまスポーツコミッション(SSC)」として法人化するとともに、新たにSSCと市、企業、スポーツ団体等との連携協定に基づき、公民+学のネットワークによる「スポーツシューレ事業」を開始しました。

スポーツシューレ事業では、「学び」の機会を提供する大会・合宿・講習会等の誘致に取り組んでおり、屋内50m水泳場及びスポーツ科学拠点施設については、大会・合宿等における会場など、スポーツシューレの拠点施設の一つとして有効活用ができると考えています。

3. 県民の利便性向上

具体的な整備候補地の特定ができていないことから、現時点で具体の案は特にありません。

4. 県民負担の抑制

具体的な整備候補地の特定ができていないことから、現時点で具体の案はありません。
本市としても財政上大変厳しい状況にありますが、可能な範囲での協力はしたいと考えています。

※その他個別の課題

有識者会議で示された課題や県が例示する課題、市が把握する課題とその対応についてご記入ください。

本市としても関心はありますが、情報が少ないこともあり、埼玉県の動向を注視しています。

なお、有識者会議のご指摘のとおり、具体的な整備候補地については未定であり、課題の一つと認識しています。